

令和4年度日本大学大学院法務研究科
既修者単位認定試験 刑事訴訟法 出題趣旨及び採点基準

1 出題趣旨

本問は、問題1において、刑事訴訟法における基本的な原則及び制度について、条文に即して説明することを求めるものである。

また、問題2においては、設問1で、証拠法分野における基本的な論点である伝聞法則の趣旨及び定義並びに伝聞と非伝聞の区別についての知識・理解を問うとともに、設問2では、伝聞例外についての知識・理解を問うており、問題1同様に条文に即して説明することを求めるものである。

いずれも、条文を中心とした基本的な理解の有無を確認したく出題した。

2 採点基準

【問題1】(計50点)

- | | |
|------------|-------|
| (1) 条文上の根拠 | (15点) |
| 趣旨 | (15点) |
| (2) 条文上の根拠 | (10点) |
| 趣旨・要件 | (10点) |

【問題2】(計50点)

- | | |
|------------|--------|
| (1) 設問1 | |
| 伝聞法則の趣旨・定義 | (20点) |
| ①及び②の伝聞該当性 | (各10点) |
| (2) 設問2 | |
| 伝聞例外該当性 | (10点) |

以上